

取組方針の進捗管理表(集計項目一覧)

当初計画 : ■■■■■■■■■■
見直し計画 : ■■■■■■■■■■
実績 : ■■■■■■■■■■

黒部河川:国土交通省 黒部河川事務所
気象台:富山地方気象台

	大項目	中項目	小項目	実施機関	スケジュール(上段:当初計画、中段:見直し計画、下段:実績)					取組状況		
					H28	H29	H30	H31	H32	(第2回協議会時点)現状、課題	その後の現状と取り組んでみて出た新たな課題	今後の予定
ハード対策	洪水を河川内で安全に流す対策	<黒部川> ・霞堤の維持・保全 ・縦工の整備 ・漏水対策 ・河道管理 ・ダムによる洪水調節	黒部河川	■	■	■	■	■	■	・計画断面に対して高さや幅が不足している堤防や流下能力が不足している河道があり洪水により氾濫するおそれがある。 ・堤防の漏水や侵食など越水以外にも洪水に対するリスクが高い箇所が存在している。		・縦工整備に関してはH30年度を目途に完了(国) ・引き続き適切な河川管理を行う(国)
			黒部河川	■	■	■	■	■	■	堤防の漏水や侵食など越水以外にも洪水に対するリスクが高い箇所が存在している。	緊急性の高い箇所(飛騨地区天端保護、音沢地区裏法尻補強)については、H28年度完了(国)	
	避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	富山県黒部河川	■	■	■	■	■	■	・WEB等により各種情報を提供しているが、住民自らが情報を入手するまでに至っていない懸念がある。 ・住民の避難行動の判断に必要な氾濫原を共有する他水系の防災情報や切迫が伝わるライブ映像等が提供できていない懸念がある。	河川情報システムの改修工事を実施中(県)	携帯端末向けのシステム導入を検討中(県)
			黒部河川	■	■	■	■	■	■	WEB等により各種情報を提供しているが、住民自らが情報を入手するまでに至っていない懸念がある。	河川の状態を把握するため、CCTVカメラを入善町小摺戸地先(R9.0km)に新たに設置(国)	今後も必要に応じてCCTVや量水標の整備を行う(国)
			黒部市入善町朝日町富山県黒部河川	■	■	■	■	■	■	水防資機材の不足、劣化状況の確認、各機関の備蓄情報の共有等が不十分であり、適切な水防活動に懸念がある。	・水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視(黒部市) ・水防連絡会において水防資機材の配置箇所及び数量について確認(国市町) ・H28年度吸水性土のうを購入(国)	・毎年水防パトロールにより確認(県) ・毎年水防連絡会において水防資機材の配置箇所及び数量について確認し、老朽化したものについては随時更新(国) ・今後も新技術を活用した水防資機材の導入を検討(国)
			黒部市入善町朝日町	■	■	■	■	■	■	大雨・暴風により防災行政無線等が聞き取りにくい状況がある。	・防災行政無線(屋外拡声子局)40箇所の設置(黒部市) ・防災ラジオの販売、受信感度を向上させるための指導・助言を実施(黒部市) ・防災無線の親局、子局は対応済(入善町) ・個別受信機については未対応であり、H34からアナログ受信機は使用不可となる(入善町)	・個別受信機のデジタル化への更新を検討(入善町) ・H31年度からH32年度で実施(朝日町)
			黒部市入善町朝日町富山県黒部河川	■	■	■	■	■	■		・庁舎の耐震化について検討が必要(入善町) ・実施済み(朝日町) ・入善土木事務所にはH25に設置された非常用発電装置があり、耐震仕様に基づきつくられたが、耐水仕様には基づいていない(県) ・対応済(国)	・庁舎の耐震化や再整備について検討(入善町) ・浸水深に対する評価を行い必要な耐水対策を検討(県)
ソフト対策	①黒部川の大規模水害における特徴を踏まえた避難行動の取組	①想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション(黒部川)、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	黒部河川	■	■	■	■	■	・浸水想定区域図等が洪水に対するリスクとして認識されていないことが懸念される。 ・水位予測の精度の問題や長時間先の予測情報不足から、水防活動の判断や住民の避難行動の参考となりにくい。	公表済(国)	昨年6月20日に公表した想定最大規模降雨による浸水想定区域図について、今後避難方法やタイミング、経路等の検討を行う時の基礎資料とするため、今年度中に氾濫拡大過程が解る詳細図を全27カ所(概ね1kmピッチ)整備(国)	
		②市・町による広域避難計画の整備及び検討と改善	黒部市入善町朝日町富山県気象台黒部河川	■	■	■	■	■	・大規模氾濫による避難者数の増加や避難場所、避難経路が浸水する場合には、住民の避難が適切に行えないことが懸念される。 ・大規模氾濫による避難場所周辺の浸水継続時間が長期に渡る場合には、住民等が長期にわたり孤立することが懸念される。 ・避難に関する情報は水害ハザードマップ等で周知しているが住民等に十分に認知されていないおそれがある。	・各市町において想定最大規模の浸水想定区域に対する避難場所等の検討 ・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)を提供するため調査中(県)	・市町外を含めた避難場所の設定と、市町村間の協定の締結を必要に応じて検討(入善町) ・引き続き調査(県) ・引き続き情報の提供など市町を支援(国)	

取組方針の進捗管理表(集計項目一覧)

当初計画 : ■■■■■■■■■■
見直し計画 : ■■■■■■■■■■
実績 : ■■■■■■■■■■

黒部河川:国土交通省 黒部河川事務所
気象台:富山地方気象台

	大項目	中項目	小項目	実施機関	スケジュール(上段:当初計画、中段:見直し計画、下段:実績)					取組状況			
					H28	H29	H30	H31	H32	(第2回協議会時点)現状、課題	その後の現状と取り組んでみて出た新たな課題	今後の予定	
ソフト対策	①黒部川の大規模水害における特徴を踏まえた避難行動の取組	広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	③広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知	黒部市 入善町 朝日町 富山県 黒部河川	■	■	■	■	■	■	・大規模氾濫による避難者数の増加や避難場所、避難経路が浸水する場合には、住民の避難が適切に行えないことが懸念される。 ・大規模氾濫による避難場所周辺の浸水継続時間が長期に渡る場合には、住民等が長期にわたり孤立することが懸念される。 ・避難に関する情報は水害ハザードマップ等で周知しているが住民等に十分に認知されていないおそれがある。	作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)を提供するため調査中(県)	・H29年度中を目途に洪水、津波に対応した防災マップを作成(入善町) ・富山県の浸水想定区域見直し後、洪水ハザードマップ見直し(朝日町) ・引き続き調査(県) ・引き続き情報の提供など市町を支援(国)
			④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	黒部市 入善町 朝日町 富山県 黒部河川	■	■	■	■	■	■	・大規模氾濫による避難者数の増加や避難場所、避難経路が浸水する場合には、住民の避難が適切に行えないことが懸念される。 ・大規模氾濫による避難場所周辺の浸水継続時間が長期に渡る場合には、住民等が長期にわたり孤立することが懸念される。 ・避難に関する情報は水害ハザードマップ等で周知しているが住民等に十分に認知されていないおそれがある。	・立ち退き避難が必要な区域等の設定がされていない(入善町) ・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)を提供するため調査中(県)	・防災マップの作成と合わせて立ち退き避難が必要な区域等の設定を検討(入善町) ・富山県の想定区域見直し後、立ち退き避難が必要な区域及び避難所を検討(朝日町) ・引き続き調査(県) ・引き続き情報の提供など市町を支援(国)
			⑤要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	黒部市 入善町 朝日町 富山県 黒部河川	■	■	■	■	■	■	災害時の具体的な避難支援や避難誘導体制が確立されていないため、特に要配慮者等の迅速な避難が確保できないおそれがある。	・現在の想定では、要配慮者施設は浸水想定区域に入っていない(朝日町) ・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)を提供するため調査中(県) ・協議会において、浸水想定区域内にある要配慮者利用施設の状況等の情報共有が必要。	・H29年5月に要配慮者利用施設の管理者等への説明会を開催(黒部市) ・富山県の浸水想定区域見直しに伴い浸水想定区域に入った場合は、今後福祉担当課と調整し、避難計画の作成及び訓練の実施を検討(朝日町) ・引き続き調査を進める(県) ・5/9～11に要配慮者利用施設への説明会を実施(県) ・引き続き情報の提供など市町を支援(国) ・協議会において、浸水想定区域内にある要配慮者利用施設の状況、同施設の地域防災計画への位置づけの状況、避難確保計画の作成状況、要配慮者利用施設で行う訓練の実施状況の把握及び優良事例の共有、市町における地域防災計画に位置づけられた要配慮者利用施設への洪水予報等の伝達(水防法上の義務)の方法について再確認を行う(国)
			⑥まるごとまちごとハザードマップの整備及び拡充	黒部市 入善町 朝日町 富山県 黒部河川	■	■	■	■	■	■	・大規模氾濫による避難者数の増加や避難場所、避難経路が浸水する場合には、住民の避難が適切に行えないことが懸念される。 ・大規模氾濫による避難場所周辺の浸水継続時間が長期に渡る場合には、住民等が長期にわたり孤立することが懸念される。 ・避難に関する情報は水害ハザードマップ等で周知しているが住民等に十分に認知されていないおそれがある。	・海岸地域において津波に対応する標高表示、避難場所の表示を実施しているため、新たに洪水対応の表示を実施した場合に混乱をまねく恐れがある(入善町) ・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)を提供するため調査中(県)	・引き続き必要性について検討(入善町) ・まるごとまちごとハザードマップについて検討(朝日町) ・引き続き調査(県) ・引き続き情報の提供など市町を支援(国)
			⑦ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報等の活用	気象台 黒部河川	■	■	■	■	■	■	・WEB等により各種情報を提供しているが、住民自らが情報を入力するまでに至っていない懸念がある。 ・災害時に国・県・市においてWEBやメール配信による情報発信を行っているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知・啓発を行い、利用者の拡大が求められている。 ・住民の避難行動の判断に必要な氾濫原を共有する他水系の防災情報や切迫が伝わるライブ映像等が提供できていない懸念がある。	国土数値情報に登録された全ての河川(洪水予報指定河川を除く)について、区間も含めて洪水害の発生する危険度を色表示させる情報を夏ごろに提供する(気象台)	引き続き実施。夏ごろまでに公表(気象台)
			⑧水位予測の検討及び精度の向上	黒部河川	■	■	■	■	■	■	水位予測の精度の問題や長時間先の予測情報不足から、水防活動の判断や住民の避難行動の参考となりにくい。		水位予測の精度向上に向けて上部機関等との情報共有を密にする(国)
			⑨プッシュ型の洪水予報等の情報発信	黒部市 入善町 朝日町 富山県 気象台 黒部河川	■	■	■	■	■	■	・WEB等により各種情報を提供しているが、住民自らが情報を入力するまでに至っていない懸念がある。 ・災害時に国・県・市においてWEBやメール配信による情報発信を行っているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知・啓発を行い、利用者の拡大が求められている。 ・住民の避難行動の判断に必要な氾濫原を共有する他水系の防災情報や切迫が伝わるライブ映像等が提供できていない懸念がある。	・H29年5月から洪水予報について、国から緊急速報メールの配信を開始。入善町では避難情報について緊急速報メールを配信(入善町) ・富山県総合防災システムにより、 ①県と参加可能な国・市町村・防災関係機関等がリアルタイムで閲覧、書込み、情報共有を実施。 ②Lアラート等を活用し、報道機関等との連携により住民等へ被害情報等を迅速・的確に提供(県) ・H29年3月「はん濫」→「氾濫」へ情報文、伝文の変更(気象台)	・防災訓練等で確実に運用できる体制を構築(入善町) ・H29年5月1日からプッシュ型の洪水予報等の情報発信を行う旨を広報5月号に掲載(朝日町) ・河川情報システムの改修工事を実施中(県) ・一般向け緊急速報メール配信について検討中(県) ・H29年5月1日から黒部市、入善町、朝日町においてプッシュ型洪水予報の配信を開始(国)

取組方針の進捗管理表(集計項目一覧)

当初計画 : ■■■■■■■■■■
見直し計画 : ■■■■■■■■■■
実績 : ■■■■■■■■■■

黒部河川:国土交通省 黒部河川事務所
気象台:富山地方気象台

	大項目	中項目	小項目	実施機関	スケジュール(上段:当初計画、中段:見直し計画、下段:実績)					取組状況				
					H28	H29	H30	H31	H32	(第2回協議会時点)現状、課題	その後の現状と取り組んでみて出た新たな課題	今後の予定		
ソフト対策	①黒部川の大規模水害における特徴を踏まえた避難行動の取組	広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	⑩水位計やライブカメラ情報のリアルタイムでの提供	富山県黒部河川	■	■	■	■	■	■	<ul style="list-style-type: none"> WEB等により各種情報を提供しているが、住民自らが情報を入手するまでに至っていない懸念がある。 災害時に国・県・市においてWEBやメール配信による情報発信を行っているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知・啓発を行い、利用者の拡大が求められている。 住民の避難行動の判断に必要な氾濫原を共有する他水系の防災情報や切迫が伝わるライブ映像等が提供できていない懸念がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 県管理河川への河川監視カメラの設置(9箇所)(県) 黒部川の状況(水位・降雨状況・画像)等は事務所HPにて把握可能。携帯・スマートフォン等においても確認可能。H28年度、入善町小摺戸地先にCCTVカメラを新たに追加(国) 	<ul style="list-style-type: none"> 提供について検討中(県) 新規設置カメラ映像を事務所ホームページ上で閲覧(国) 	
			避難勧告の発令に着眼したタイムラインの作成	黒部市入善町朝日町富山県気象台黒部河川	■	■	■	■	■	■	<ul style="list-style-type: none"> 浸水想定区域図等が洪水に対するリスクとして認識されていないことが懸念される。 避難勧告等の発令に着眼したタイムラインが、実態に合ったものになっているかが懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> 黒部川対象の全市町について作成完了。 黒部川に対する浸水想定区域がごく一部のため、タイムラインが未作成(舟川等は作成済)(朝日町) 作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)を提供するため調査中(県) 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も国・県と連携を図り、訓練や実対応で運用し、必要な改善を実施(黒部市) 今後、訓練や実対応で運用し、必要な改善を実施(入善町) 富山県の浸水想定区域の見直しにあわせて、タイムラインを作成(朝日町) 引き続き調査を進める(県) 引き続き情報の提供など市町を支援(国) 	
			②気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	気象台	■	■	■	■	■	■	■	<ul style="list-style-type: none"> 避難に関する情報は水害ハザードマップ等で周知しているが住民等に十分に認知されていないおそれがある。 WEB等により各種情報を提供しているが、住民自らが情報を入手するまでに至っていない懸念がある。 災害時に国・県・市においてWEBやメール配信による情報発信を行っているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知・啓発を行い、利用者の拡大が求められている。 	自治体等関係機関に防災提供システムから危険度を色分けした時系列や警報級の可能性について試験的提供(気象台)	ユーザーの意見を踏まえた改良を行い、出水期に正式運用し、ホームページで公開(気象台)
			③タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	黒部市入善町朝日町富山県気象台黒部河川	■	■	■	■	■	■	■	<ul style="list-style-type: none"> 大規模氾濫による避難者数の増加や避難場所、避難経路が浸水する場合には、住民の避難が適切に行えないことが懸念される。 大規模氾濫による避難場所周辺の浸水継続時間が長期に渡る場合には、住民等が長期にわたり孤立することが懸念される。 避難に関する情報は水害ハザードマップ等で周知しているが住民等に十分に認知されていないおそれがある。 	黒部川に対する浸水想定区域がごく一部のため、タイムラインが未作成(舟川等は作成済)(朝日町)	<ul style="list-style-type: none"> H29年度より水害対応訓練の際にタイムラインの確認を行う(入善町) 富山県の浸水想定区域見直しにあわせて、タイムラインを作成した後に取組む(朝日町) 水害対応訓練について引き続き支援を行う(県) 引き続き情報の提供など市町を支援(国) H29年度以降水害対応訓練の際にタイムラインの確認を行う(国)
			④「災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周知・教育・訓練	黒部市入善町朝日町富山県黒部河川	■	■	■	■	■	■	■	<ul style="list-style-type: none"> 大規模氾濫による避難者数の増加や避難場所、避難経路が浸水する場合には、住民の避難が適切に行えないことが懸念される。 避難に関する情報は水害ハザードマップ等で周知しているが住民等に十分に認知されていないおそれがある。 災害時の具体的な避難支援や避難誘導體制が確立されていないため、特に要配慮者等の迅速な避難が確保できないおそれがある。 	<ul style="list-style-type: none"> H28年度に黒部市前沢地区で防災・福祉マップを作成し防災意識の啓蒙を図った(黒部市) H28年度に黒部市若栗地区、入善町蛇沢地区で災害・避難カード作成時に防災教育を実施(黒部市、入善町) 入善町蛇沢地区での災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加(県) 	<ul style="list-style-type: none"> 黒部市、入善町では今後も災害・避難カード作成について対象地区を拡大しながら、防災教育のさらなる拡大を図る(黒部市、入善町) 災害避難カードの作成を検討。(朝日町) 引き続き支援を行う(県) 引き続き情報の提供など市町を支援(国)
防災教育や防災知識の普及	①水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	黒部市入善町朝日町富山県黒部河川	■	■	■	■	■	■	<ul style="list-style-type: none"> WEB等により各種情報を提供しているが、住民自らが情報を入手するまでに至っていない懸念がある。 災害時に国・県・市においてWEBやメール配信による情報発信を行っているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知・啓発を行い、利用者の拡大が求められている。 住民の避難行動の判断に必要な氾濫原を共有する他水系の防災情報や切迫が伝わるライブ映像等が提供できていない懸念がある。 災害時の具体的な避難支援や避難誘導體制が確立されていないため、特に要配慮者等の迅速な避難が確保できないおそれがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 問合せ窓口を設置済み(入善町) 問合せ窓口を設置済み(朝日町) 県HPに問い合わせ窓口を設置(県) 問合せ窓口を設置済み(国) 	<ul style="list-style-type: none"> 問い合わせ窓口への対応サポートを引き続き実施(県) 引き続き情報の提供など市町を支援(国) 			
									②出前講座を活用するなど水防災に関する講習会の開催	黒部市入善町朝日町富山県気象台黒部河川	■	■	■	■

同時
発表

北陸地方整備局／黒部河川事務所／富山河川国道事務所

平成29年3月28日
北陸地方整備局河川部

緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を 富山県内の4水系11市町村で開始します!

北陸地方整備局では、平成29年5月1日より、自治体や携帯電話事業者との調整等が整った富山県内の4水系11市町村において緊急速報メールを活用した洪水情報^{*1}のプッシュ型配信^{*2}を開始します。

配信対象は、今後も順次拡大していきます。

- ※1 「洪水情報」とは、洪水予報指定河川の氾濫危険情報（レベル4）及び氾濫発生情報（レベル5）の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。
- ※2 「プッシュ型配信」とは、受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みです。

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月から、国が管理する2河川（鬼怒川、肱川）の沿川市町村（茨城県常総市、愛媛県大洲市）において洪水情報のプッシュ型配信に取り組んでいます。平成29年5月1日から、以下により配信対象をエリア拡大します。

1 エリア拡大開始日

平成29年5月1日（月）

2 配信対象（富山県内）

北陸地整管理河川4水系11市町村
（詳細は別表）

3 配信対象者

配信対象内の携帯電話等

（NTTドコモ、KDDI・沖縄セルラー、ソフトバンク（ワイモバイル含む））のユーザーを対象

「洪水情報のプッシュ型配信」イメージ



4 配信する情報

配信対象河川において、「河川氾濫のおそれがある(氾濫危険水位に到達した)情報」及び「河川氾濫が発生した情報」を配信

5 留意事項

- ・携帯電話事業者毎の基地局や通信システムの関係により、配信対象となる市町村よりも広範囲のエリアに緊急速報メールが送信されることがあります。
- ・携帯電話等の電源が入っていない場合や、圏外、電波状況の悪い場所、機内モード時、通話中、パケット通信中の場合は受信することができません。
- ・ご利用の機種により、緊急速報メールに対応していない場合があります。
- ・緊急速報メールを受信するために、受信設定が必要な場合があります。詳細については、各携帯電話事業者のホームページよりご確認ください。

NTTドコモ：https://www.nttdocomo.co.jp/service/areamail/compatible_model/index.html

KDDI・沖縄セルラー：<https://www.au.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/enabled-device/>

ソフトバンク：http://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/models/

ワイモバイル：http://www.ymobile.jp/service/urgent_mail/

開催概要

平成27年関東・東北豪雨による大規模浸水被害を踏まえ、黒部川が氾濫することを前提として、**地域全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築するため**、平成28年8月に開催した「黒部川大規模氾濫に関する減災対策協議会」において、『今後概ね5年間で達成すべき減災のための目標』並びに『黒部川流域の減災に係る取組方針』を取りまとめました。

今回、その具体的な取組として『**災害・避難カードの配布・普及・促進**』を進めるため、氾濫区域の中から、地域防災に熱心な黒部川右岸側の入善町蛇沢地区をモデル地区として選定し、先駆的に進めることとなりました。

H28～32までの取組の具体的な内容（抜粋）

ソフト対策として

◇**災害・避難カードの配布・普及・促進**による住民の主体的避難の為の防災意識向上

日時・出席者・議事等

- 日時 | 平成29年1月19日（木）19:00～21:00
- 会場 | 入善町蛇沢地区公民館
- 出席者 | 入善町蛇沢地区の住民の皆様（12名）、入善町、黒部河川事務所（オブザーバー）富山県新川土木センター入善土木事務所
- 議事 |
 - ・災害・避難カード等概要説明
 - ・避難勧告等の説明
 - ・防災情報の入手方法
 - ・黒部川（入善町蛇沢地区）の浸水想定区域説明
 - ・グループ討議

住民の方の感想



テレビなどでよく災害について見て、自分には無関係と思っていたが、今日のワークショップに参加したことで、改めて日頃しっかり自分を守ること、地区としての役割を考えさせられた。
とても良い機会に巡り会えて良かったと思う。

説明状況

災害・避難カード等概要説明



防災情報の入手方法説明



グループでの議論状況

地域の状況を共有し、避難方法の再確認



新聞報道記事



北日本新聞（2017年1月23日）

開催概要

平成27年関東・東北豪雨による大規模浸水被害を踏まえ、黒部川が氾濫することを前提として、**地域全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築するため**、平成28年8月に開催した「黒部川大規模氾濫に関する減災対策協議会」において、『今後概ね5年間で達成すべき減災のための目標』並びに『黒部川流域の減災に係る取組方針』を取りまとめました。

今回、その具体的な取組として『**災害・避難カードの配布・普及・促進**』を進めるため、氾濫区域の中から、地域防災に熱心な黒部川左岸側の黒部市若栗地区をモデル地区として選定し、先駆的に進めることとなりました。

H28～32までの取組の具体的な内容（抜粋）

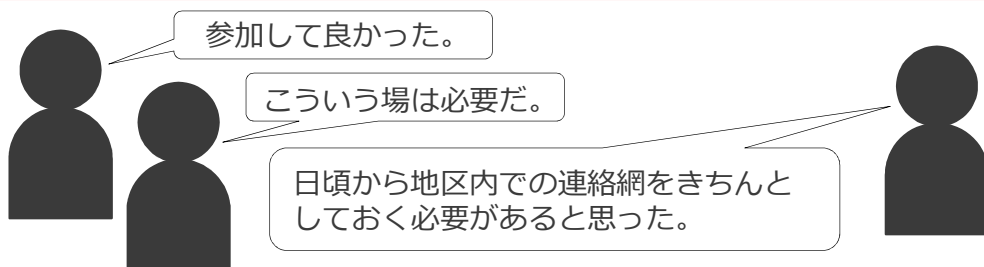
ソフト対策として

◇**災害・避難カードの配布・普及・促進**による住民の主体的避難の為の防災意識向上

日時・出席者・議事等

- 日時 | 平成29年2月18日（土）13:30～15:30
- 会場 | 黒部市中坪公民館
- 出席者 | 黒部市若栗地区の住民の皆様（39名）、黒部市、黒部河川事務所
- 議事 |
 - ・災害・避難カード等概要説明
 - ・避難勧告等の説明
 - ・防災情報の入手方法
 - ・黒部川（黒部市若栗地区）の浸水想定区域説明
 - ・グループ討議

住民の方の感想



説明状況

災害・避難カード等概要説明



防災情報の入手方法説明



グループでの議論状況

地域の状況を共有し、避難方法の再確認



新聞報道記事



北日本新聞（2017年2月19日）